

定例記者会見（発言内容要旨）

開催日 令和7年11月28日（金）13:30

場 所 庁議室

◆市長あいさつ

■先崎市長

各報道機関の記者の皆様には、大変お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

12月を目前にして、各社ともおそろくお忙しいのではないかと思料します。

休園していた茨城県植物園につきましても、明日リニューアルオープンということで、いろいろとあるかと思いますが、そのような中でも、本日の記者会見にお越しいただきまして、本当にありがとうございました。

また、日頃より本市の各種施策やイベントを取り上げていただくなど、情報発信にお力添えをいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年も早いもので、いつのまにか師走がもうそこまで、という時期になってまいりました。

例年であれば、この時期に「那珂市産業祭」のご案内をするところですが、こちらについては、今年度から夏のイベント「なかひまわりフェスティバル」と統合し、新たに、「ひまわり畑」「会場イベント」「花火大会」の3部構成からなる「いい那珂フェスティバル」として開催してまいりました。

先週11月22日に実施した、第3部の花火大会では、親子連れをはじめ、大勢の方にご来場いただきまして、活力あふれるまちづくりには、人と人との交流や賑わいの創出が大変重要であり、そのためにも、効果的な情報発信が不可欠だということを改めて認識した次第でございます。

詳細はこの後ご説明申し上げますが、来月以降も、イルミネーションや駅伝大会など、各種イベントが続きますので、記者の皆様におかれましては、引き続き、本市の情報発信にお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



○令和7年第3回那珂市議会定例会に提出する議案概要等について○

■先崎市長

会期につきましては、12月4日木曜日から12月24日水曜日までの21日間を予定しております。

続きまして、令和7年第4回那珂市議会定例会に提出します内容ですが、「報告」が1件、「議案」として「条例の一部改正」が8件、「条例の廃止」が1件、「令和7年度各種会計補正予算」が8件、「その他」が1件の、計19件でございます。

本日は、このうち、議案第74号及び議案第75号についてご説明させていただきます。

【議案第74号 令和7年度那珂市一般会計補正予算（第5号）】

予算総額に、歳入歳出それぞれ1億3,560万1千円を追加し、260億9,443万6千円とするものでございます。

歳出の内容として、各費目において、人事院勧告に伴い、人件費及び関連する特別会計への繰出金等を増額するものでございます。

また、歳入については、歳出補正予算との関連において、国庫支出金及び繰越金を増額するものでございます。

【議案第75号 令和7年度那珂市一般会計補正予算（第6号）】

予算総額に、歳入歳出それぞれ3億1,556万5千円を追加し、264億1,000万1千円とするものでございます。

歳出の主な内容として、総務費については、管財事務費において通話録音システムの導入に係る委託料等を増額するものでございます。

民生費については、障害福祉サービス給付事業、医療福祉扶助事業及び児童入所施設措置事業において、支出見込額の増に伴い扶助費等を増額するものでございます。

衛生費については、聖苑管理事業において、電気料の見込み増等に伴い指定管理に係る委託料等を増額するものでございます。

教育費については、小学校及び中学校の教育用コンピューター管理事業において、児童生徒用タブレット管理ソフトのライセンス更新に係る使用料等を増額するものでございます。

諸支出金については、国県負担金等返納金において、前年度の精算等による返納金を増額するものでございます。

また、歳入については、歳出補正予算との関連において、繰入金を減額し、国庫支出金、県支出金、繰越金、諸収入、市債を増額するものでございます。

（次のページに続く）

なお、只今ご説明をしました、議案第74号、75号、令和7年度那珂市一般会計補正予算の概要につきましては、定例記者会見資料にお戻りいただきますと、3ページのほうで、補正予算等の概要として、歳出についての主要なものを記載しておりますので、ご参考にしていただければと思います。

議案の説明につきましては、以上となります。

○市政に関する告知事項○

■先崎市長

今回の告知事項につきましては「静峰ふるさと公園イルミネーション2025 花ホタルのもり」を開催します」ほか6件となります。

【「静峰ふるさと公園イルミネーション2025 花ホタルのもり」を開催します】

那珂市では、静峰ふるさと公園において「静峰ふるさと公園イルミネーション2025 花ホタルのもり」を開催します。

本イベントは今年で5回目を迎え、毎年多くの来訪者にご好評をいただいております。点灯エリアも年々拡大しております。

今年は、イルミネーションの象徴であるオブジェ「花ホタルの宿り木」をさらにパワーアップし、高さを増すとともに、内部の光が毎時間色を変える新しいプログラムを導入します。水上ステージの上にできる一番大きいオブジェをパワーアップするということでございます。

幻想的な冬の夜を彩る光の演出を通じて、来訪者に、静峰ふるさと公園ならではの美しいひとときをお楽しみいただけるよう準備を進めております。

【令和8年那珂市二十歳の集いを開催します】

那珂市では、なかLuckyFM公園において「令和8年那珂市二十歳の集い」を開催します。

この催しは、二十歳を迎えた皆さんの新たな門出を祝い、地域のつながりを感じていただくことを目的として実施するものでございます。

今年も、地元企業の皆様から温かいご支援をいただいております。昨年に引き続き、木内酒造株式会社様からは「お酒引換券」を、株式会社ぐるぐる様からは「パン引換券」をご提供いただいております。

さらに今年度からは、株式会社茨城口ボッツ・スポーツエンターテインメント様より「試合観戦チケット」をご提供いただくことになりました。

これらの協賛品は、市からの記念品とあわせて、当日ご参加の皆さまにお渡しいたします。

また、抽選会の景品として、株式会社芋助様より「ほしいも」をご提供いただいております。

このように、多くの企業の皆さまからのご協賛・ご協力もいただくことで、地域全体で二十歳を迎えた皆さんを祝福できる場としたいと考えております。

(次のページに続く)

【第63回那珂市冬季駅伝競走大会を開催します】

那珂市スポーツ協会では、「第63回那珂市冬季駅伝競走大会」を開催します。

本大会は、小中学校の児童生徒や、市民の皆様にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、体力づくりやアマチュアスポーツ精神の高揚、心身の健全な育成を目的として実施されるものでございます。

また、大会運営には多くの市民ボランティアの皆様が参加しており、地域全体で支える大会として、一層の盛り上がりを見せている大会となっております。

【季節展「正月飾り展」を開催します】

那珂市歴史民俗資料館では、市民の皆様から寄贈いただいた羽子板や破魔弓を展示する「正月飾り展」を開催します。

羽子板や破魔弓は、古来より縁起物とされ、魔除けの意味を持つとともに、初めて正月を迎える子どものお守りとして贈られる風習があります。

本展では、昭和初期に作られた高さ1メートルを超える巨大な武者羽子板をはじめ、市内手芸グループによる色とりどりの正月飾り作品なども展示します。

新年を華やかな気持ちで迎えていただける、他にはない魅力的な展示となっております。

多くの市民の皆様に、伝統文化の魅力を感じていただける場として、開催をしてまいりたいと考えております。

【令和8年那珂市消防出初式を挙行政します】

那珂市では、消防職団員の士気高揚と那珂市の消防力の現状を市民の皆様に広く公開し、市民の消防に対する理解を深めるとともに、防火思想の普及を図ることを目的として、「令和8年那珂市消防出初式」を挙行政します。

当日は、消防本部及び消防団が一堂に会し、一糸乱れぬ行進や、消防職団員に対する表彰などが行われます。

この出初式を通じて、市民の皆様に消防活動の重要性をご理解いただくとともに、地域の防災意識向上に寄与できるよう、市としましても、万全の準備で開催を進めてまいりたいと考えております。

(次のページに続く)

【多文化共生セミナーを開催します】

那珂市国際交流協会では、外国の文化や習慣を理解し、日本との違いを知ること
で、多文化共生社会への理解を深めることを目的とした、「多文化共生セミナー」
を開催します。

今回は、東南アジアのタイ出身で、日本在住20年以上のヴィリンヤーさんを講
師にお迎えします。

ヴィリンヤーさんは、熱帯のビーチや豪華な王宮、古代遺跡、仏像が並ぶ華やか
な寺院などで知られるタイの文化に詳しく、日本での生活の中で感じる母国との違
いについてもお話しいたします。

また、講演後には講師を囲んでの交流会（お茶会）も開催し、参加者同士での意
見交換や交流の機会を設ける予定でございます。

このセミナーを通じて、多文化共生の理解を深め、市民の皆さまが互いの文化を
尊重し合う社会づくりに寄与できるよう、市としましても、引き続き支援をしてま
いります。

【ライフデザインサポート事業を実施します】

那珂市では、市内の8年生（中学2年生）を対象に、各学校において「ライフデ
ザイン講座」を実施しております。

本講座は、女性と男性がお互いの立場を尊重しながら、将来のキャリアをイメー
ジし、自身の価値観を明確にして「自らの意思で選択しながら生きる」力を育むこ
とを目的としております。

当日は、様々な分野で活躍する講師や、これまでにない生き方を選択した女性の
体験談を通して、多様なライフスタイルの可能性を学ぶ機会を提供します。

参加する生徒たちは、「自分はどうなりたいのか」「そのために何をすべきか」
を考える貴重な機会を得ることができます。

将来を見据えた主体的な選択ができる若者を育成するため、市としましても、引
き続き本講座を支援してまいります。

本日の資料に記載はございませんが、那珂市にとっては、茨城県植物園のリニュー
ーアルオープンが、非常に大きな話題になると思います。昨日はオープニングセレ
モニーが行われましたが、明日のグランドオープンが非常に楽しみです。これはお
そらく、将来にわたって、県央県北地区の観光振興のみならず、交流人口の拡大に
大きなインパクトを与えてくると思いますので、那珂市としても精いっぱい支援
をしていきたいと思ひますし、これからも愛される植物園になるように頑張ってい
きたいと考えております。

時節柄、大変お忙しいとは存じますが、イベントの開催等に係る告知のご協力、
そして、多くのご取材を賜りますようお願い申し上げます。

○質疑応答○

◆一般会計補正予算（第6号）で、カスタマーハラスメント対策として市役所への通話を録音するシステムの導入とありますが、導入の経緯をお聞かせください。

■総務部長

全国的にカスタマーハラスメントが増えており、本市でも増えてきております。具体的には、窓口や電話、メール等による同じ内容のクレームや要求、一方的な質問もかなり増えておりまして、職員を守るといいますか、市としてもしっかりとした対応をしなければならないということで、令和7年10月に「那珂市職員のためのカスタマーハラスメント対策マニュアル【暫定版】」を策定しました。

令和7年10月30日に管理職を対象とした説明会を開催し、それにあわせて、今後録音システムを導入し、市としてしっかり対応していこうということでございます。

◆録音システムの導入後のイメージですが、市役所の代表番号にかけた後に、まず案内の音声が出るのでしょうか。

■総務部長

代表電話にかけますと、自動音声で「サービス向上のため録音させていただきます」というアナウンスがあります。その後、電話交換士が受けるという流れになります。

◆録音の保存期間や、実際にどのような活用を想定されているのかをお聞かせ願います。

■総務部長

録音機能について、詳細は把握しておりませんが、当然ながら一定期間保存ができるようなものになると思われます。録音内容をきちんと整理し、状況によっては、弁護士等に相談の上、きちんとした対応をとりたいと考えております。

◆ほかの自治体での、導入状況は把握しておりますか。

■総務部長

ほかの自治体の導入状況につきましては、今手元にはございませんが、県内でも少しずつ増えてきているという認識でございます。

（次のページに続く）

◆市役所以外の公共施設においても、導入の予定はありますか。

■総務部長

今回補正予算を計上しているのは、あくまでも直通でつながる代表電話のみになります。代表番号で、各施設につなぐものに関しては全て対応できます。

外部の各施設における直通電話では対応できませんので、そちらについては、令和8年度に整備する予定です。

◆令和7年10月に策定されたカスタマーハラスメント対策マニュアルについてですが、これは、市民からのカスタマーハラスメントを想定してつくられたものですか。

■総務部長

市職員に対するカスタマーハラスメント対策ですから、市民や事業者などからのものを想定しています。

◆「那珂市職員のためのカスタマーハラスメント対策マニュアル【暫定版】」には、どのような内容が記載されていますか。具体的な対応策まで示されていますか。

■総務部長

まず初めに、カスタマーハラスメントとはどういうものなのかということと、カスタマーハラスメントをどのように予防すればよいのかということが記載されています。あとは、カスタマーハラスメントの認定や対応。対応については、初期段階から組織対応の段階までと、段階別で整理しております。その他職員のケアや啓発について、具体的な発話例等も記載されております。

現在、市としては「暫定版」という形でマニュアルを作成しましたが、今後間もなく、国から新たなカスタマーハラスメントに対する指針が出る予定になっておりますので、それを反映した形で、カスタマーハラスメント対策マニュアルは「完成版」という形になると考えております。

(次のページに続く)

◆静峰ふるさと公園で開催されるイルミネーションについて、今回で5回目ということですが、新しい試みや企画があれば教えてください。

■企画部長

イルミネーションを象徴するオブジェ「花ホタルの宿り木」をパワーアップし、今まで高さが2.5メートルだったものを、今回は4メートルにします。あと、これは昨年からですが、市内の保育園、幼稚園、認定こども園の園児（5歳児・4歳児）にお願いして、ランタンに絵を書いてもらい、それを展示するというようなことをしております。

その他、竹で作った小さい手持ちのランタンを60個用意し、点灯式やクリスマスイベントデーのときにそれを貸し出しし、それを持って園内を歩っていただき、幻想的なイルミネーションを演出する予定です。

◆シンボルツリー「花ホタルの宿り木」は、どの位置になりますか。

■企画部長

位置は、静峰ふるさと公園の水上ステージの真ん中に設置します。

◆そうすると、イルミネーションのイメージとしては、公園内にある樹木に飾りつけるのではないのでしょうか。

■企画部長

公園内にある樹木にも飾りつけをします。水上ステージをメインステージにして、そこに「花ホタルの宿り木」として、イルミネーションの象徴であるオブジェを設置します。

◆「花ホタルの宿り木」には、電球は何球くらいつくのですか。

■総務部長

全体では4万球になります。そのうち、「花ホタルの宿り木」では3千球使用する予定です。

◆「クリスマスバージョン特別仕様」は、装飾等どのように変わるのでしょうか。

■企画部長

装飾自体は変わりませんが、色の使い方を変えたりとか、音楽をクリスマスバージョンにして流したりとか、そのような仕様になります。

（次のページに続く）

◆第63回那珂市冬季駅伝競走大会についてですが、参加チーム数と人数を教えてください。

■企画部長

令和6年度の実績は、参加人数は約700人、参加チーム数は小学校の部で26チーム、中学校の部で11チーム、中学校の部活動の部で42チーム、一般の部で5チームでした。

今年度の出場チーム数は、小学校男子の部が11チーム、小学校女子の部が13チーム、中学校男子の部が17チーム、中学校女子の部が17チーム、一般の部が10チームになっております。参加人数は合計で約340人となります。

■総務部長

この那珂市冬季駅伝競走大会に、那珂市職員のチームとして毎年1、2チーム参加しているのですが、今年度参加するチームの中に、那珂市議会議員のチームが参加しますので、議会事務局からも、ぜひ取材していただければということでした。

◆11月の高市首相の台湾有事答弁で、日本への渡航自粛を呼びかけたりして、観光とか産業とかへの影響が懸念されるところですが、那珂市への影響を伺うにあたり、まず、観光として、そもそも那珂市のインバウンドの現状を教えてください。

■企画部長

那珂市におけるインバウンドの影響につきましては、聞き及んでおりません。

◆そうしますと、観光面ではもともとインバウンド需要はあまりなくて、影響についても今のところ見られてないというところで、輸出とか産業で見ると、「ほしいも」や「日本酒」とかは、若干影響が考えられるのかと思いますが、現状、事業者や商工会から何か声が上がっていますか。

■企画部長

今のところ聞き及んでおりません。

◆現在、ケースデンキ那珂店の後ろの森林を切り開いている状況ですが、進捗状況を教えてください。

■企画部長

現在、正式な手続に至っているわけではなく、都市計画課において、事業者と事前の打ち合わせをしている段階とのことです。

(次のページに続く)

◆菅谷地内の水郡線の高架下にあった「お風呂の時間ですよ」は、現在解体をしていて、今後についていろいろな臆測がありますが、これについてはどうですか。

■企画部長

市では把握しておりません。

■副市長

何か動き出せば、必要な手続で市に上がってくることになると思いますが、それまでは、あくまでも民間同士のやりとりなので、市では把握しておりません。

◆ケーズデンキ那珂店裏の土地ですが、昨年度市で発掘調査をされていると思いますが、商業施設として適する土地と判断されたのでしょうか。

■企画部長

寄居地区の発掘調査ですが、本調査が終わりまして、現在報告書をまとめている最中とのことです。重要な構造物は出てきていない状況です。

◆発掘調査の報告書の完成時期と、公開される範囲や対象はどうなりますか。

■企画部長

発掘調査の報告書は、現在まとめている最中ですが、調査の結果、「開発に支障がない」という公表はありますが、特別なものが発掘されなかった場合は、報告書そのものの公表はありません。

◆「お風呂の時間ですよ」があった場所ですが、もともとは市営の健康センターがあったのでしょうか。本日、近くを散策したら、「お風呂の時間ですよ」の看板の下に、薄く「那珂市ヘルスセンター」という文字が残っていたので、市の施設があったのかと思いましたが。

■企画部長

市営ではなく、企業が運営していた民間の施設です。「那珂健康センター」という名称ただただけで、市の健康増進施設ではありません。